

気持ちの良いルートの発見

南会津

大戸沢岳 大中子山山スキー

山行の数日前に桧枝岐で大雪が降った。強風のため桧枝岐の学校は休校になったそうである。会津の山を常々山スキーに行きたいと思っていたのでどんな山行になるかとても楽しみだった。

2月4日(土)：晴れ

大戸沢スノーシェッドの付近に車を止めた。スノーシェッドでRSSAの方と合流した。東尾根を登り始めると尾根上の雪は風に叩かれて、固くなっていた。高度を上げるにつれて風が強くなり、1550mのコルにて休憩した。当日の天気予報では午後から風が止むとのことだった。雪面も固く登ってもスキーを楽しめないという判断から降りることになった。まず東に向けて滑降し、1400m付近の尾根に上り返した。

ここから東南東方面にシュプールがあり、良さそうな斜面だったこともあり滑降していった。雪は重かったが溜まっていて、各々が山スキーを楽しんだ。斜面の中ごろは雪質がかなり良く気持ちよく滑れた。私は上手く滑れず雪に突っ込みまくったが、良いラインだったと思う。もっと上手に滑れるよう今度は山頂まで行って、他のルートで滑ってみたいと思う。



2月5日(日)：曇り後雪

午後から雪が降る天気予報だった。11時に登るのを切り上げ、降りることとして行動を始めた。準備をしていると、メンバーの一人が車のバックドアの角に頭をぶつけ軽傷を負った。血が多く出ていたため、大事をとって山行には同行しないこととなった。林道を歩いて一ノ岐戸沢出会まで行った。左岸尾根を登って行った。樹林帯の気持ちの良い登りだった。バーンがあるわけでもなく地味な山だが、木が疎らに立っている感じは雰囲気が良かった。1625m付近で11時となったため、登るのをやめ下降を開始した。雪は昨日とは違い溜まっているわけでもなく、カチカチでもなくといった感じだった。途中滑る尾根を間違えかけたが、GPSのおかげでルートに復帰した。尾根通しで滑りおり、村に戻った。



【日程】

2017年2月4日(土)～5日(日)

【メンバー】

田辺(L)、坂村、栗原、本多、田宮(RSSA)

【地形図】

桧枝岐、会津駒ヶ岳、帝釈山、内川

【記】本多

【行程】

2/4 スノーシェッド(7:30)～東尾根 1550m(9:50/10:50)～東尾根 1390m(12:00)～スノーシェッド(12:45)

2/5 桧枝岐(6:50)～一ノ岐戸沢出会(7:45)～一ノ岐戸沢左岸尾根 1625m(11:00)～桧枝岐(12:50)